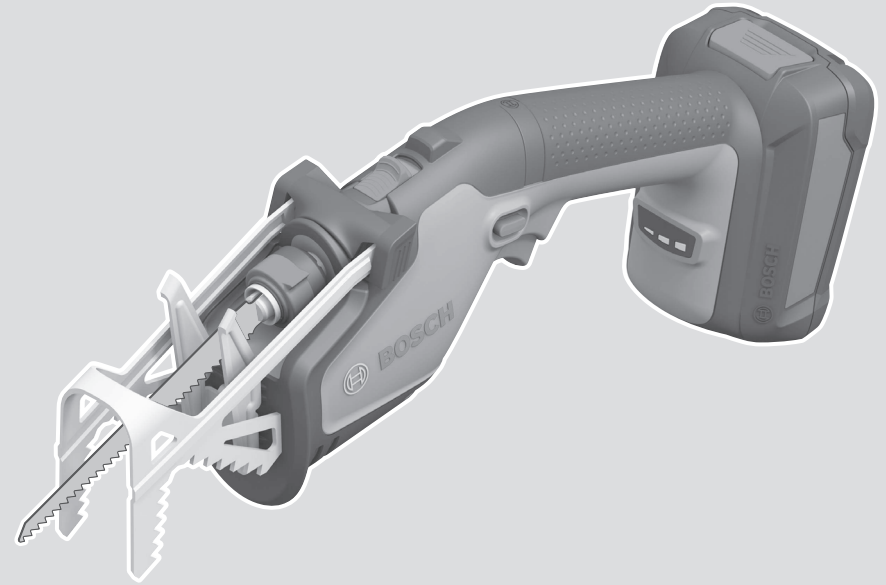




ボッシュ株式会社 電動工具事業部

ホームページ： <http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7

コールセンターフリーコール

0120-345-762

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

* 携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。



F 016 L94 424

F 016 L94 424 (2023.01)

Keo (キオ)



BOSCH

取扱説明書

このたびは、弊社コードレスのこぎりをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がございましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。



目次

●安全規則.....	2
警告表示の区分	2
一般的な電動機械の安全に関する警告	2
往復動のこぎりの安全性に関する警告	5
記号について	6
●安全上のご注意.....	8
コードレス電動機械全般についての注意事項	8
往復動のこぎりについての注意事項	15
●本製品について.....	17
用 途.....	17
各部の名称.....	18
標準付属品.....	19
仕 様.....	20
●使い方.....	22
バッテリーを準備する	22
作業前の準備をする.....	25
作業する	31
●バッテリーを長持ちさせるために.....	36
●リサイクルのために	36
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください	36
●お手入れと保管.....	37
クリーニング.....	37
ブレードのお手入れ.....	38
保 管.....	38
電動機械 (本体) の廃棄について	38
●困ったときは.....	39
故障かな?と思ったら.....	39
修理を依頼するときは.....	40

安
全

つ本
製
品
に

使
い
方

つバ
ッテ
リ
ー
に

保 お
手入
れと
管

困
った
とき
は

安全規則

安

全

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は  **危険**、 **警告**、 **注意** に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。



- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 **注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

一般的な電動機械の安全に関する警告



警 告

電動機械とともに提供される全ての安全上の警告、指示、図解および仕様をお読みください。

次に示す全ての指示に従わない場合には、感電、火災および重傷を負う恐れがあります。

必要に応じて読むことができるように、全ての警告および指示を後日のために保管してください。

次に示す全ての警告における“電動機械”という用語は、電源式（コード付き）電動機械または、電池式（コードレス）電動機械を示す。

a) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分に明るくしてください。散らかった暗い場所で作業すると事故の原因となります。
- 2) 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動機械を使用しないでください。電動機械から発生する火花は、粉じんまたは蒸気（ヒューム）を発火させることがあります。
- 3) 電動機械の使用中は、子供および第三者を近付けないでください。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがあります。

b) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－電気的安全性

- 1) 電動機械の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。また、電源プラグを改造しないでください。アダプタープラグを接地した電動機械と一緒に使用しないでください。改造していない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地されたものと、身体を接触させないでください。
身体が接地されたものと接触した場合、感電する恐れがあります。
- 3) 電動機械を雨または湿気のある状態にさらさないでください。電動機械に水が入ると、感電する恐れがあります。
- 4) コードを乱暴に扱わないでください。コードを引っ張って電動機械を引き寄せたり、または電源プラグを抜くためにコードを引っ張らないでください。コードを熱、油、鋭利な角または動いているものに接触させないでください。コードが損傷したり絡まったりすると、感電する恐れがあります。
- 5) 電動機械を戶外で用いる場合は、戶外の使用に適した延長コードを使用してください。戶外の使用に適したコードを使用することで、感電のリスクは低減されます。
- 6) 電動機械を湿った場所で用いることが避けられない場合、漏電遮断器（RCD）によって保護された電源を使用してください。漏電遮断器（RCD）を使用することで、感電のリスクは低減されます。

c) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－人的安全性

- 1) 電動機械の使用中は、油断をせず、現在、自分が何をしているかに注意してください。電動機械の使用中は、自らの動作に対する作業安全を常に考慮してください。疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる場合は、電動機械を使用しないでください。電動機械の使用中的一瞬の不注意で、深刻な人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 2) 安全保護具を使用してください。常に、保護めがねを装着してください。防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に用いることで、傷害事故を低減することができます。

- 3) 意図しない始動を避けるため、スイッチに指をかけて電動機械を運ばないでください。電源プラグを差し込む前に、スイッチが“切”の位置にあることを確認してください。スイッチに指をかけて電動機械を運んだり、スイッチが“入”の位置になった電動機械の電源プラグを差し込むと、意図せず始動し事故の原因となる恐れがあります。
- 4) 電動機械の電源を入れる前に、調整キーまたはレンチを外してください。電動機械の回転部分に調整キーまたはレンチを付けたままにしておくと、人的傷害を引き起こす恐れがあります。
- 5) 無理な姿勢で作業しないでください。常に適切な足場およびバランスを維持してください。これによって、予期しない状況でも電動機械を適切に操作することができます。
- 6) だぶだぶの(余裕のある)衣服または装飾品は身に付けず、きちんとした服装で作業してください。髪、服および手袋を回転部分に近付けないでください。だぶだぶ(余裕のある)の衣類、装飾品または長髪で作業をすると、回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用してください。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができます。
- 8) 電動機械を使い慣れていても、安全性に注意して作業してください。不注意な行動は、重大な傷害を引き起こす恐れがあります。

d) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－バッテリー電動機械の使用および手入れ

- 1) 弊社が指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外では充電しないでください。
指定する充電器およびバッテリーの組み合わせ以外で充電すると、火災を発生する恐れがあります。
- 2) 電動機械は、指定するバッテリー以外は、使用しないでください。指定していないバッテリーを使用すると、人的被害および火災のリスクを生じる恐れがあります。
- 3) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなどの金属物、または端子間を短絡する恐れがあるその他の小さな金属物と分けて保管してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災を生じる恐れがあります。
- 4) 過度な条件の下では、バッテリーから液体が漏えいすることがあります。バッテリーから漏えいした液体への接触は避けてください。漏えいした液体に接触した場合は、水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、医師にご相談ください。バッテリーから漏えいした液体は、炎症またはやけどの原因となる恐れがあります。
- 5) 破損または改造したバッテリーや電動機械を使用しないでください。使用すると、火災や爆発、若しくはけが、予期しない動作を生じる恐れがあります。

- 6) 火または高温にバッテリーや電動機械をさらさないでください。火または130℃以上の温度にさらすと爆発する恐れがあります。
- 7) 取扱説明書の指示に従って充電してください。取扱説明書で指定する温度範囲外では、バッテリーまたは電動機械を充電しないでください。不適切または指定範囲外の温度で充電すると、バッテリーが損傷し、火災の危険が増大します。

e) 一般的な電動機械の安全性に関する警告－修理

- 1) 電動機械の修理は、資格を有する修理要員に純正交換部品だけを用いて修理するよう依頼してください。これによって、電動機械の安全性が維持できます。
- 2) 損傷したバッテリーは、修理しないでください。損傷したバッテリーの修理は、弊社または認定整備業者に依頼してください。

往復動のこぎりの安全性に関する警告



警告

- a) 隠れた配線又は自らの電源コードに、のこぎり刃が接触する恐れのある作業をするときは、絶縁ハンドルを保持してください。電動工具の金属部を保持した状態で、のこぎり刃が通電した配線に接触すると、感電する恐れがあります。
- b) 加工物を、安定した作業台に固定し、支持するために、クランプ又は他の実用的な固定方法を使用してください。加工物を、手で持ったり、体で固定すると、加工物が不安定になり、制御不能になることがあります。

記号について

本機には下記の記号が表示されています。

記号の意味を十分理解して本機を使用してください。

安全

	直流
	ユーラシア経済連合の基準適合表示
	ウクライナの基準適合表示
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用するWEEE指令の適合表示
	作業中は防音保護具を着用してください。
	リサイクルマーク
	韓国の国家統合認証表示
	オーストラリア・ニュージーランドの基準適合表示
	中国で使用するRoHS指令の適合表示
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください

	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

安
全

安全上のご注意

安全

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
- ◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動機械全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について説明します。

危険

- **ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。**
 - ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動機械本体の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- **バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。**
- **バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。**
 - ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- **バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。**
 - ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- **コードレス電動機械本体やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。**
 - ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。

● 専用の充電器以外では、充電しないでください。

- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。

● バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。

- ◆ 短絡の恐れがあります。

● バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。

また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。

- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。



警告

● 正しく充電してください。

- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。
- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。

● 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。

- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

● 感電に注意してください。

- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。

● 加工するものをしっかりと固定してください。

- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス電動機械を使用できます。

- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー(マンガン乾電池等)は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
 - ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 電動機械にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。

- **電動機械を、無理に使用しないでください。目的に合った電動機械を使用してください。より適切、安全に作業ができます。**
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動機械の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動機械やアタッチメントは、大型の電動機械で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

- **電動機械、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動機械に合うように使用してください。**
電動機械を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。

- **スイッチで始動、および停止操作のできない電動機械は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動機械は危険です。修理を依頼してください。**

- **調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動機械本体からバッテリーを取り外してください。**
このような予防的安全手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。

- **先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動機械本体の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。**
 - ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動機械本体の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。

- **作業中にコードレス電動機械本体の調子が悪くなったり、異常音が生じたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
 - ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、コードレス電動機械本体や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
 - ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
 - －できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
 - －作業場所の換気に注意してください。
 - －DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
 - 作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、コードレス電動機械本体が冷めるための時間を設けてください。
 - ◆ 複数個による連続作業は、コードレス電動機械本体に支障をきたすばかりでなく、コードレス電動機械本体の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診断を受け てください。
 - ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
 - ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的にコードレス電動機械の通気口を清掃してください。
 - ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
 - ◆ 握り部が滑りやすいと、コードレス電動機械本体を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。

- 電動機械を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動機械の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動機械を扱いなれていない人に渡すと、危険です。

- ◆ この機械で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- ◆ 鍵のかかる所に保管してください。

- 電動機械の保守を行ってください。電動機械の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼ください。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

- コードレス電動機械の修理は、専門店で依頼してください。

- ◆ サービスマン以外の方は電動機械、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動機械が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動機械やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動機械をコントロールできなくなります。
- ◆ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用した電動機械の保守・点検・修理は受け付けできません。

- この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。

- ◆ この機器で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。

- アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。

●安全上のご注意は、必ず守ってください。

- ◆ コードレス電動機械の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。コードレス電動機械操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

●搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。

第三者が運搬する場合（例えば空輸あるいは代理店経由）、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取り扱いの専門家に相談してください。



注 意

●先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

- ◆ 確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

●高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。

- ◆ 材料や機体などを落としたときなど、事故の原因になります。

●電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

●破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

往復動のこぎりについての注意事項

コードレス電動機械全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、往復動のこぎりをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

安
全



警 告

- 作業中に振り回されないよう、電動機械本体を確実に保持して作業してください。
 - ◆ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
- 作業中は、先端工具や切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。
 - ◆ 近づけると、けがの原因になります。



注 意

- 曲がったり、磨耗したりしたセーバーソーブレードは使用しないでください。
 - ◆ セーバーソーブレードが破損したり、キックバックが発生したりする危険があります。
- 電源を“入”にしてからセーバーソーブレードを材料に当ててください。
 - ◆ 材料に当ててから電源を“入”にすると、キックバックの危険があります。
- 作業中は常にベースプレートを材料に押し当ててください。
 - ◆ 押し当てていないと、セーバーソーブレードがかみ込み、電動機械のコントロールを失う恐れがあります。
- 作業が終わったらスイッチを切り、セーバーソーブレードが完全に停止するまで待ってから電動機械本体を材料から離してください。
 - ◆ このようにしないと、キックバックが発生する危険があります。

- スイッチを切った後、セーバーソーブレードの側面を押さえて止めないでください。
 - ◆ セーバーソーブレードが破損・破断したり、キックバックが発生したりする危険があります。
- 作業直後の先端工具や切り粉などは、高温になっていますので触れないでください。
 - ◆ やけどの原因になります。
- 電動機械本体を作動させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ◆ 事故の原因になります。
- セーバーソーブレードの交換は、手袋やウエスなどで手を保護してから行ってください。
 - ◆ 手を保護しないとけがの原因になります。
- セーバーソーブレードは、不用意に触れると危険です。作業時以外でも十分注意してください。
 - ◆ 不用意に触れると、けがの原因になります。
- 先端工具や先端工具取り付け部の切り粉などを、拭き取ってください。
 - ◆ 切り粉などが付着していると、先端工具が外れたりして、けがの原因になります。

本製品について

用 途

- ◆ 木材、生木などの切断
- ◆ 軟鋼材、銅管、石こうボードなどの切断

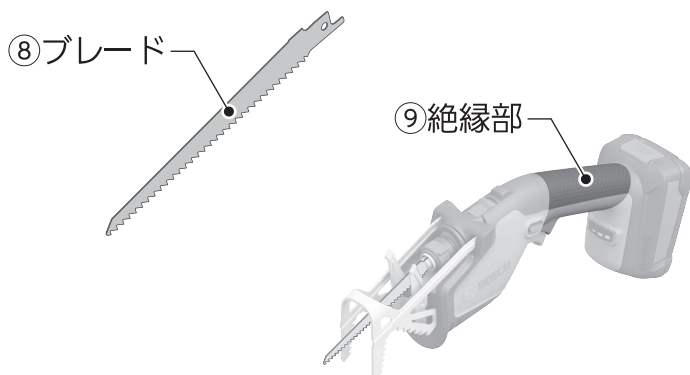
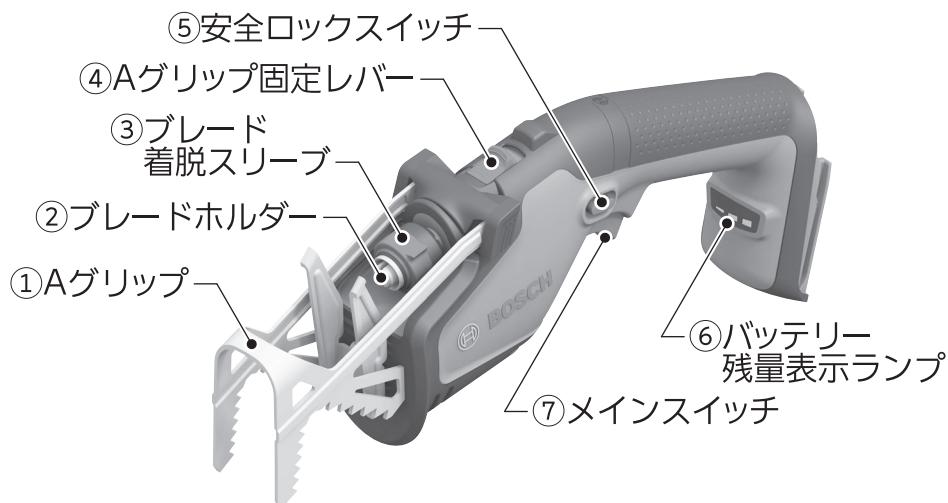
※ 本製品は、ご家庭での使用を想定した製品です。

 ブレードの推奨事項を遵守してください。

つ本
い製
品
てに

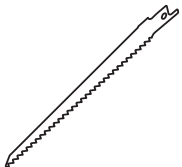
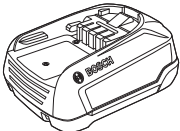
各部の名称

つ本
製
い
品
てに



◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

標準付属品

モデル名	Keo	
型 番	Keo 118	Keo 118 H
 セーバーソーブレード (ブレード)	1本	1本
 Aグリップ	1個	1個
 充電器 AL 1810 CV	1個	—
 リチウムイオンバッテリー A 1825 LIG 18V 2.5Ah	1個	—

本
製
品
に
つ
い
て

◆イラストの形状・詳細は、実物と異なる場合があります。

セーバーソーブレードに関して

ブレードは全長150mm前後のボッシュ純正セーバーソーブレードを使用してください。

最新商品情報は弊社ホームページにてご確認ください。

仕 様

電動機械本体

つ本
い製
て品
に

モデル名	Keo	
型 番	Keo 118	Keo 118 H
本体型番	3 600 H61 A. .	
定格電圧	D.C.18V	
ストローク数 無負荷	0～2,300min ⁻¹ (回/分)	
ストローク幅	20mm	
最大切断能力目安*1 庭木 (Aグリップ未装着時) (Aグリップ装着時) 木材 (Aグリップ未装着時) 軟鋼材	80mm 60mm 80mm 7mm	
質 量*2*3	約1.4kg	
推奨充電周囲温度範囲	0℃～+35℃	
使用可能周囲温度範囲*4	-20℃～+50℃	
保管可能周囲温度範囲	-20℃～+50℃	
振動3軸合成値*5 木材 (梁) 切断時	20m/s ²	
原産国	ハンガリー	

*1 最大切断能力目安は、作業条件によって異なります。

*2 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*3 使用するバッテリーの容量により異なります。

*4 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

*5 EN62841-2-11規格に基づき測定

使用可能ボッシュ充電器

品 番	AL 18....*6
-----	-------------

使用可能ボッシュDIY・ガーデンツール用リチウムイオンバッテリー

品 番	A 18..LIG*6 PBA. 18 PBA 18V....
-----	---------------------------------------

*6 ボッシュDIY・ガーデンツール用に限る

👉 Keo 118 Hには、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。
使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム&ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。
(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

本
製
品
に
つ
い
て

使い方

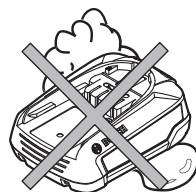
バッテリーを準備する

🔧 Keo 118 Hには、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お買い求めください。

使用可能なバッテリー・充電器の品番は、ボッシュ電動工具ホームページ「ホーム＆ガーデン」を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。（フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。）

● バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか？
- バッテリーから液漏れが発生していないか？
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか？
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか？



● バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みになり、正しく充電してください。

● バッテリー残量表示



バッテリーの残量(目安)は、電動機械本体のバッテリー残量表示ランプ⑥で確認することができます。

バッテリー残量表示ランプ⑥は、「メインスイッチ⑦」を軽く、またはいっぱいに引き込むと点灯します。

使
い
方

バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	75%以上
緑色2つ点灯	40～75%
緑色1つ点灯	15～40%
緑色1つゆっくり点滅	0～15%

- ☞ 「メインスイッチ⑦」を引き込んで、バッテリー残量表示ランプ⑥が1つも点灯・点滅しないときは、バッテリーが破損しています。
バッテリーを交換してください。
- ☞ バッテリー残量表示ランプ⑥が緑色3つで早く点滅しているときは、バッテリーの温度が許容作動範囲(−20℃～+50℃)を超えているか、過負荷保護機能が作動しています。

● バッテリーを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを取り付けたり取り外したりするときは、「安全ロックスイッチ⑤」が“安全ロックの位置(中央)”になっていることを確認してください。

取り付け

バッテリーを、電動機械本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”と音がするまで押し込みます。



注意

- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

「バッテリー取り外しボタン」を押しながら、バッテリーを電動機械本体から引き抜きます。



注意

- ◆ バッテリーを引き抜く際、けがをしないよう注意してください。

作業前の準備をする

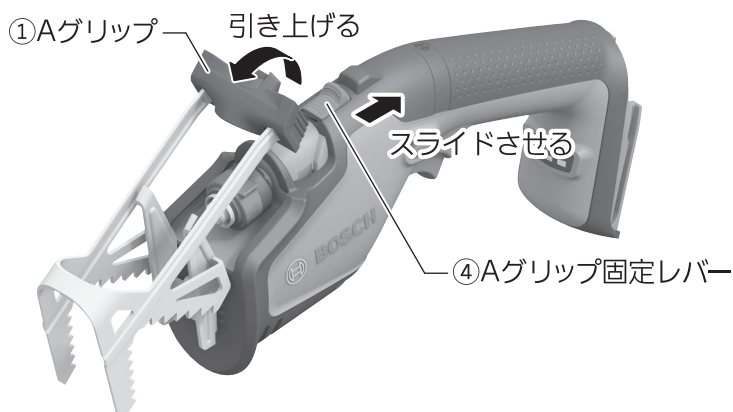
● Aグリップを取り外す・取り付ける



- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、Aグリップ①を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動機械本体からバッテリーを取り外してください。
- ◆ Aグリップ①が破損しているときは、使用しないでください。

枝を切断するとき以外は、Aグリップ①を取り外してください。

取り外し

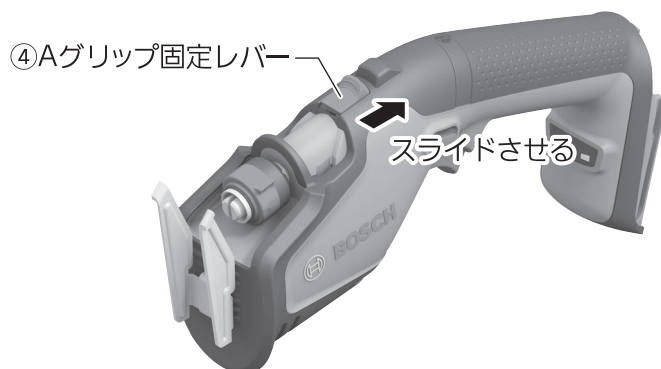


使
い
方

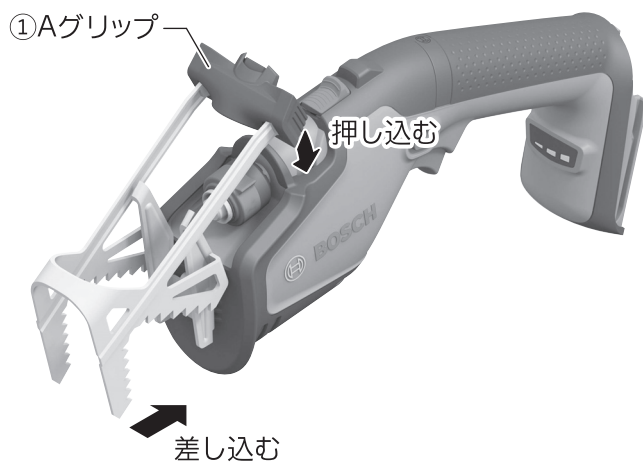
1. Aグリップ固定レバー④を電動機械本体の後方 (バッテリー側) へスライドさせて保持します。
2. Aグリップ固定レバー④を保持したまま、Aグリップ①を矢印の方向に引き上げて取り外します。

取り付け

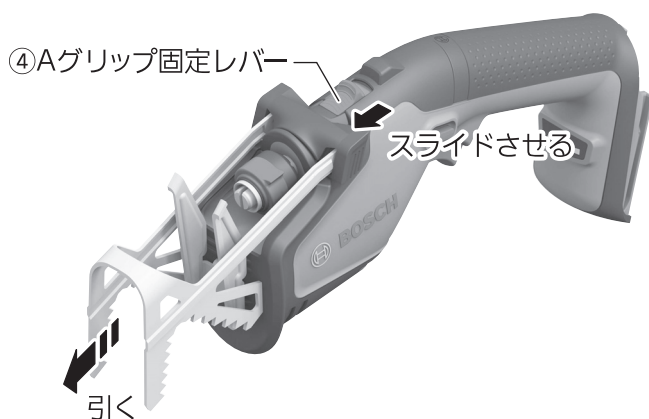
1. Aグリップ固定レバー④を電動機械本体の後方 (バッテリー側) へスライドさせて保持します。



2. Aグリップ固定レバー④を保持したまま、Aグリップ①を電動機械本体にセットし、矢印の方向に押し込みます。



3. Aグリップ固定レバー④を電動機械本体の前方 (Aグリップ側) ヘスライドさせ、Aグリップ①を固定します。



4. Aグリップ①を電動機械本体の前方 (矢印の方向) に引き、抜けないことを確認します。

● ブレードを選ぶ

材料の材質と厚みに合ったブレード⑧を選んでください。

木材・プラスチックの切断..... 木工用のブレード

金属などの切断..... 金工用のブレード

☞ 切断しようとする材料より必要以上に長いブレード⑧を使用しないでください。

☞ 切削オイルスプレーなどを使用すると、ブレード⑧が長持ちします。

● ブレードを取り付ける・取り外す



警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、ブレード⑧を取り付けたり取り外したりするときは、必ず電動機械本体からバッテリーを取り外してください。
- ◆ 損傷したブレード⑧は、使用しないでください。曲がったり、切れ味が悪くなったブレード⑧を使用すると、キックバックの原因になります。



注意

- ◆ 切断直後のブレード⑧は高温になっています。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。冷めてから、ブレード⑧を取り外してください。
- ◆ ブレード⑧は刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。
- ◆ 使用するブレード⑧は全長150mm前後のボッシュ純正セーバーソーブレードを使用してください。最新商品情報は弊社ホームページにてご確認ください。

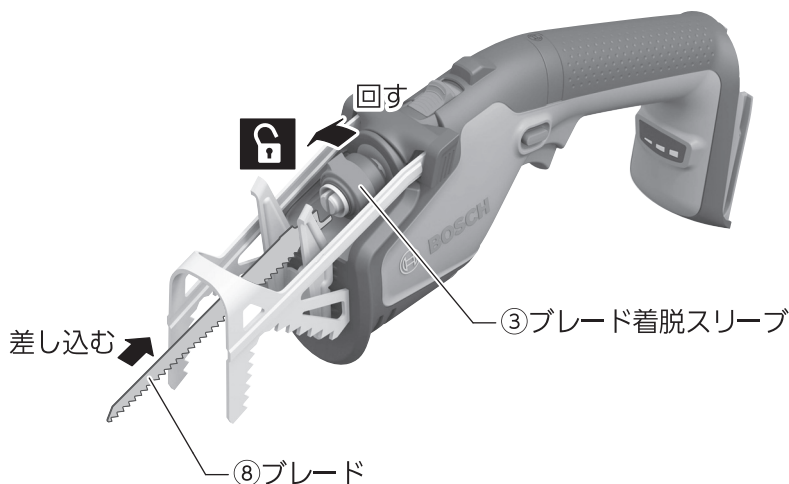
使
い
方

ブレード⑧を点検する

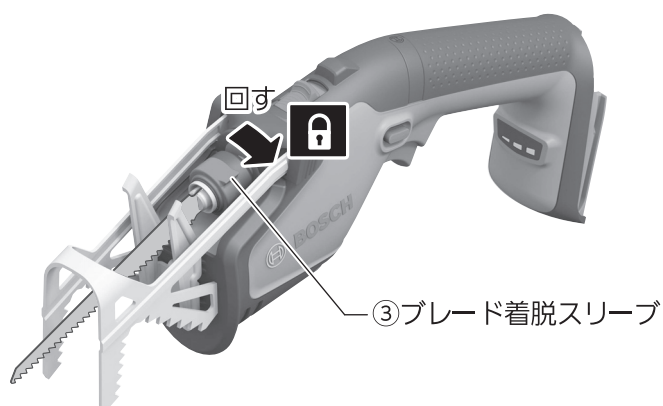
- ブレード⑧は短すぎないか？
- ブレード⑧は曲がっていないか？
- ブレード⑧の刃先が欠けていたり、摩耗したりしていないか？

取り付け

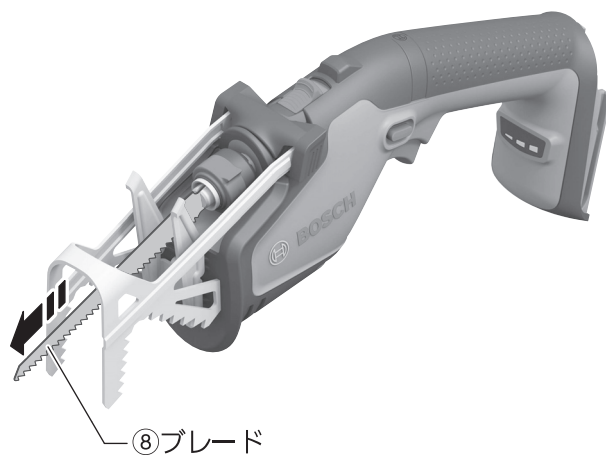
1. ブレード着脱スリーブ③を矢印の方向に止まるまで回転させ、ブレード⑧を奥まで差し込みます。



2. ブレード⑧が奥まで差し込まれたら、ブレード着脱スリーブ③を矢印の方向に止まるまで回転させてブレード⑧を固定します。



3. ブレード⑧を手で引っ張り、確実に取り付けられていることを確認します。

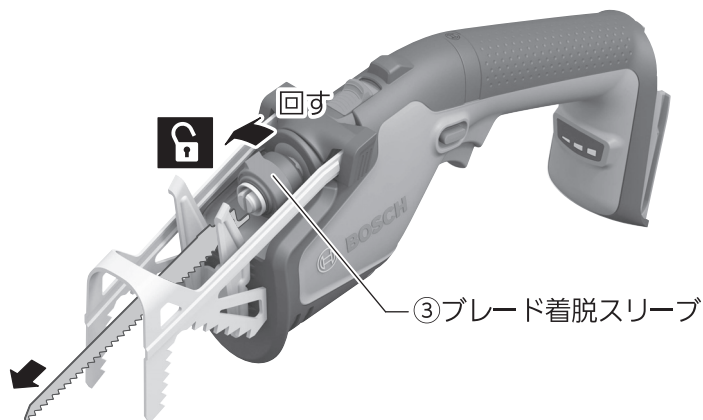


取り外し



- ◆ 作業直後のブレード⑧は高温になります。冷めてから、ブレード⑧を取り外してください。

ブレード着脱スリーブ③を矢印の方向に止まるまで回転させ、ブレード⑧を引き抜きます。



作業する



警告

- ◆ 作業中は、電動機械本体の先端部分やブレード⑧に手や顔を近づけないでください。
- ◆ 作業中に振り回されないよう、電動機械本体を確実に保持して作業してください。



注意

- ◆ 炎天下での作業はできる限り避けてください。
炎天下で作業される場合は、暑さ対策をし、体調に十分注意してください。
- ◆ 枝などを切断するときは、作業を始める前に、ワイヤーフェンスなどの異物がないことを確認してください。

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

電動機械本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度外になった場合、バッテリー保護のために電動機械本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

電動機械本体が停止している状態で「メインスイッチ⑦」を引き込み続けると、故障の原因になります。

使
い
方

① 電動機械本体にバッテリーを取り付ける



警告

- ◆ 「安全ロックスイッチ⑤」が“安全ロックの位置(中央)”になっていることを確認してから、バッテリーを取り付けてください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は、取り付けないでください。指定外のバッテリーを取り付けると、電動機械が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。

バッテリーを電動機械本体のバッテリー差し込み口に“カチツ”と音がするまで押し込みます。



注意

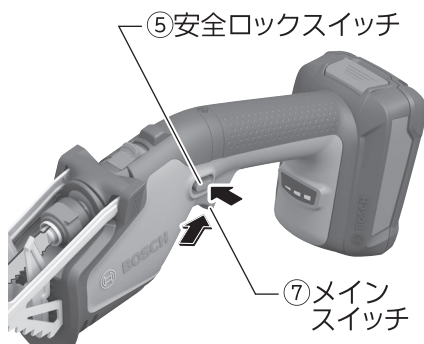
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

② 「メインスイッチ⑦」を“入”にする

スイッチの入/切

入: 「安全ロックスイッチ⑤」を左右どちらかに押し込んだまま保持し、「メインスイッチ⑦」を引き込みます。
「メインスイッチ⑦」を引き込んだら「安全ロックスイッチ⑤」から指を離します。

切: 「メインスイッチ⑦」から指を離します。
「安全ロックスイッチ⑤」が“安全の位置 (中央)”に戻ります。



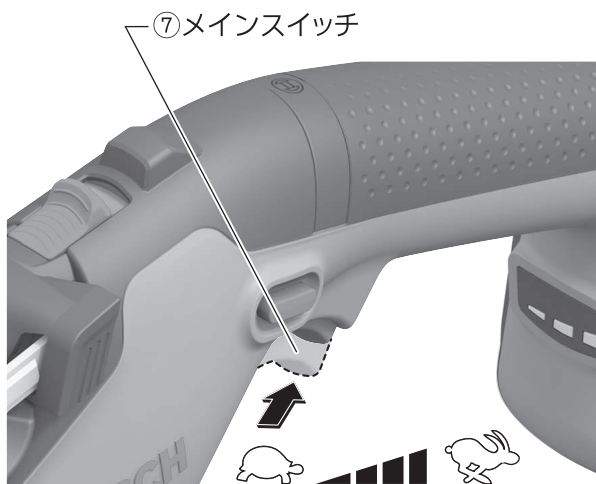
ストローク数(回転スピード)の調節

「メインスイッチ⑦」を引き込む加減で、ストローク数(回転スピード)が調節できます。

ストローク数を調節することにより、材料に、より適した切断が可能になります。

軽く引く…低ストローク数

強く引く…高ストローク数



3 切断する



警告

◆ 使用中は、電動機械本体を確実に保持してください。



注意

◆ 作業時、電動機械本体は軽く押すだけで十分です。
必要以上に強く押しつけると、ブレード⑧を傷めて作業率がさがったり、電動機械本体が故障したりします。

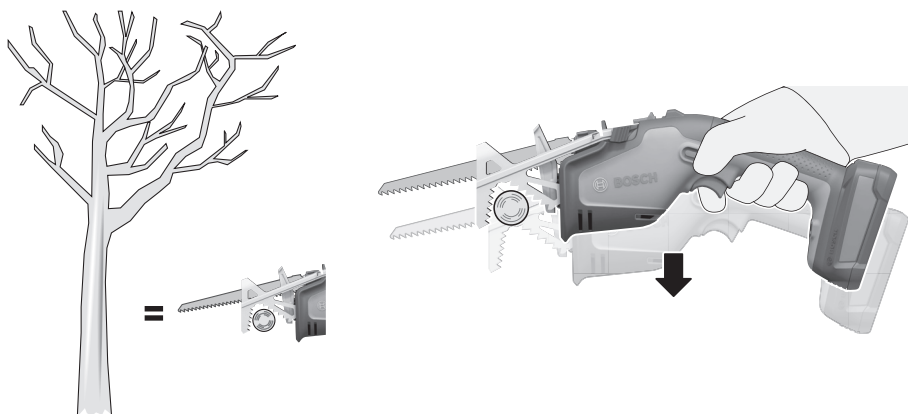
「メインスイッチ⑦」を“入”にして、回転が十分に上がってから切断を始めてください。

切り始めは、ブレード⑧をゆっくり材料に押しつけてください。

- ☞ 切断中は、Aグリップ①やベースプレート材料にしっかり押しつけてください。
- ☞ 適切な切断スピードで作業してください。
- ☞ 金属を切断する場合、切削オイルスプレーを使用すると、スムーズで早い切断作業ができるとともに、ブレード⑧の寿命が延びます。
- ☞ 低ストローク数で長時間切断作業すると、電動機械本体が高温になります。電動機械本体が高温になったときは、最高ストローク数で約3分間無負荷で回転させ、電動機械本体を冷ましてください。

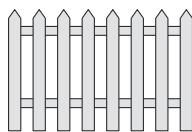
使
い
方

Aグリップ①を使用して作業するときは、電動機械本体を下方方向に動かして切断します。切断する樹木の重さがかかりますので、必ず上から下方方向へ切断を行ってください。



Aグリップ①を使用しないで作業するときは、電動機械本体を上下方向に動かして切断します。

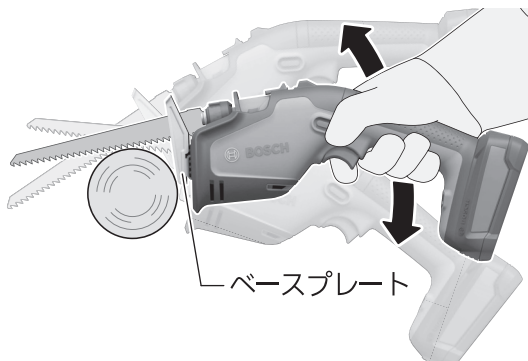
ベースプレートに材料にしっかり押し当てて切断してください。



=



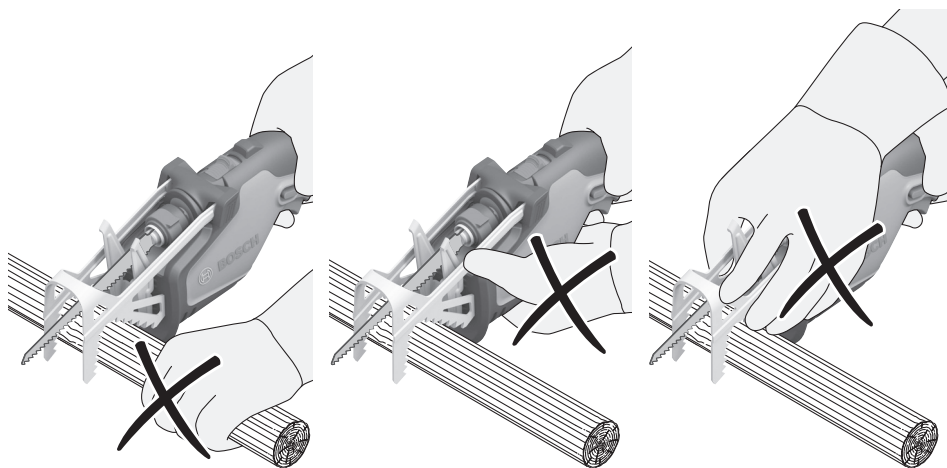
=



使
い
方



◆ 下図のような持ち方では、絶対に作業をしないでください。



4 切断を終了する

「メインスイッチ⑦」から指を離します。

「安全ロックスイッチ⑤」が“安全の位置(中央)”に戻ります。



- ◆ ブレード⑧の動きが完全に止まるまで、電動機械本体を床やテーブルなどに置かないでください。
- ◆ 「メインスイッチ⑦」を切ったあと、ブレード⑧の動きを無理に止めるようなことはしないでください。
また、手で押さえるようなことは絶対にしないでください。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

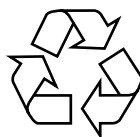
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動機械用バッテリーのリサイクルを推進しております。

恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



【<http://www.jbrc.com>】



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みの電動機械本体を廃棄するときは、本体を分解せず、電動機械本体ごとボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちください。

お手入れと保管

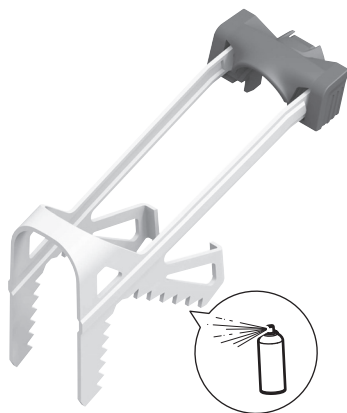


警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリーを電動機械本体から取り外し、お手入れしてください。

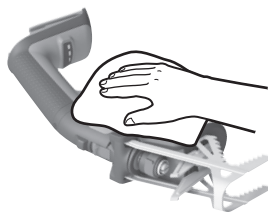
クリーニング

- 通風口やブレード取り付け部などに付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- バッテリー取り外しボタンやバッテリー差し込み部に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす
- Aグリップ①に付着した切り粉、ホコリを取り除き、オイルスプレーを吹き付ける



- 乾いた、柔らかい布で電動機械本体の汚れをふき取る

 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保
お
手
入
れ
と
管

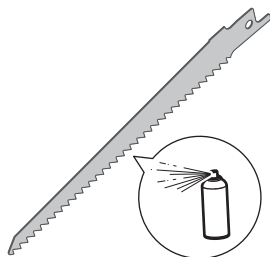
ブレードのお手入れ



注意

◆ ブレード⑧は、刃先が身体に触れないように注意してください。
けがの発生を防ぐため、手袋を着用してください。

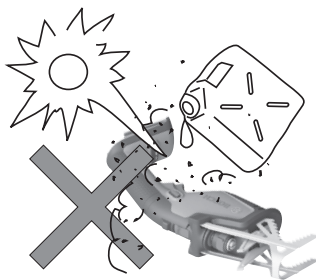
- ブレード⑧に付着した切り粉、ホコリを取り除き、オイルスプレーを吹き付ける



保 管

- 使った後は、バッテリーを取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。特に、50℃以上になるところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。



保
手
入
れ
と
管

電動機械(本体)の廃棄について

バッテリー以外の電動機械本体および付属品(充電器など)の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

症 状	原 因	対 処
「メインスイッチ⑦」を引き込んでも、作動しない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電する
	バッテリーの温度が最適温度範囲外になっている	バッテリーが最適温度範囲内になるまで待つ
「メインスイッチ⑦」が引き込めない	「安全ロックスイッチ⑤」が安全の位置(中央)になっている	「安全ロックスイッチ⑤」を解除する
切断に時間がかかる	ブレード⑧が摩耗している	ブレード⑧を交換する
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電する
充電しても、フル充電しない。または、フル充電しても、使用時間が短い	バッテリーの寿命が尽きた	バッテリーを交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161をご利用ください。
コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ <http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813 埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030 FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104 福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

ボッシュ電動工具保証書

品 名	コードレスのこぎり
型 式	Keo 118 (Keo 118 H)
製造番号	
保証期間	お買上げ日より1年間
お買上げ日	年 月 日

お 客 様	お名前
	ご住所 〒
	TEL FAX

本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただくことを
お約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

販売店・住所・TEL・FAX

ボッシュ株式会社 電動工具事業部
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7
TEL 03-5485-6161
ボッシュ電動工具サービスセンター TEL 0493-56-5030
ボッシュ電動工具サービスセンター西日本 TEL 092-963-3486

< 無料修理規定 >

1. 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従った
正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合に
は、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買上げの販
売店に商品と本書をご持参・ご提示いただき、お
申しつけください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料とさ
せていただきます。
(イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造によ
る故障及び損傷
(ロ) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故
障及び損傷
(ハ) 火災、風水害、地震、落雷、その他天災地変、
公害、煙害、異常電圧、指定外の使用電源など
による故障及び損傷
(ニ) 工場でのライン作業等の連続長時間使用によ
る故障及び損傷
(ホ) 消耗部品（バッテリー等）が損耗し交換修理
を要する場合
(ヘ) 本書のご提示がない場合
(ト) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名
の記入のない場合、あるいは字句を書き替え
られた場合
4. 故障ではない点検、調整。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is only valid in Japan.
6. 本書は再発行をいたしませんので、大切に保管し
てください。

7. ご転居等の場合の修理ご依頼先は、お買上げ販売店
またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談
ください。

※この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにお
いて無料修理をお約束するものです。
従いましてこの保証書によってお客様の法律上の権
利を制限するものではありませんので、保証期間経
過後の修理などにつきましておわかりにならない場
合は、お買上げの販売店またはボッシュ電動工具
サービスセンターまでお問い合わせください。

修理メモ